
彼の言葉

隅の

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼の言葉

【コード】

N6043Z

【作者名】

隅の

【あらすじ】

こづかいさきにたたず

街の片隅で座ったまま呆けていると、僕から少し離れた場所に座っていた彼は唐突に口を開いた。

「私ね、最近思ってます」

周りを見回すが誰もいない。どうやら彼は僕に話しかけているようだった。

彼は続ける。

「この世界は意味の無いものなんじゃないかって」

面倒だとは思ったが、連日働きづめで疲れていた僕は、立ち去ることも億劫になり座ったまま続きを待った。

「稼ぐために働き、稼いだ金は生きるために使う。やめることもできず、ただ延々と繰り返すだけの世界。嫌になりますよね……」

どうやら彼は僕の返事を期待しているようだった。

「はあ」

沈黙を通せば彼は静かになっただろう。しかし、休む間手持ち無沙汰だった僕は、気まぐれで相槌をうつ。

返事が返ってくるとは思わなかったのか、彼は立ち上がり、僕の隣に座りなおすと嬉々として再び語り始めた。

「ところが、金を持つてる奴は違うんですよ。あなたも見たことあ

るでしょう。奴らしいもの身に着けて、取り巻きたくさんつれて、大人数でたむろしてる。はたから見たら迷惑極まりないんだろうけど、もしあの中には入れたら楽しそうじゃないか。私はね、あいつらみたいになりたくて必死に働いてるんだ。決して楽じゃないけど、汗水たらして、時間も忘れて、毎日毎日毎日。確かに今の稼ぎは少ないが、少ないなりに貯蓄はしているんだ。どのくらいかかるかはわからないけど、いつか私も金持ちの一人になれる」

彼の言葉が段々と荒くなる。

「それなのにうちの嫁は……こんなに頑張ってるってのにあいつははわかってくれない。私が自分の時間を削ってまで働いてるのに、あいつはお金が無いだの生活が厳しいから稼いでこいだの、私の苦労も知らず勝手なことばかりぐちぐち言い続ける。信じられるか？ あいつは毎日俺が精一杯働いているのを見てるんだぞ」

彼に奥さんがいることに驚いたが、それには触れず

「大変ですね」

とだけ返しておいた。

暫しの沈黙が続いた後、冷静になったのか

「嫁には感謝もしているんです。こんな私でもついてきてくれたのはあいつだけですからね。忙しい私に代わって家の事は全てやってくれていますし、口うるさいところを除けば最高の嫁ですよ。そんな嫁を驚かすためにも、休んでる場合じゃないですね」
と、彼は立ち上がる。

「こんなおっさんの愚痴聞いてもらってありがとございました。目指すところが見えたし、私はまた頑張ってきますね」

そう言うと彼は大きな剣を片手に走り去っていった。

その背中を見送りながら僕は大きく伸びをしPCの電源を切った。
小さくなった彼の背中と、座ったままの僕が消え、暗い画面には
半分閉じた目をした僕の顔が映った。

一呼吸おき、一気に立ち上がる。

暫くまともに動かなかったせいか体の節々が痛んだ。

僕は今しがた電源を落としたPCを窓から投げ捨て、反対側にある扉から外に出た。

数日振りの外は丁度日の出で、冷たい空気と日の光が身に染みた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6043z/>

彼の言葉

2011年12月20日02時52分発行